

①イギリスの産業革命

「工場制手工業=マニファクチュアによる時計工業などの飛躍的発達

「17世紀の二度の( )1革命→経済活動の自由=特権やギルドの廃止

「植民地獲得競争に勝利→原料供給地・( )2を獲得

「18世紀なかばからの農業革命❖a・第二次( )3=地主が小農の土地を取り上げる

→土地を失った農民=ヨーマン=が都市に流入→工場の( )4となる

「世界市場を制圧した国際貿易による商工業者の( )5蓄積

「石炭・鉄鉱石などの資源の存在

❖a--18世紀新農法=( )6農法。三畝制をやめ大型犁と畜糞による穀物増産の進展。

綿織物 ( )7産の綿織物=キャリコ=が庶民の必需品となる。

→18世紀末イギリスで水力紡績機、力織機の発明→( )8工業が飛躍的に発達

「奴隷貿易港リヴァプールの後背地( )9で綿工業が勃興

1733 ジョン=ケイ (1704~64) 「飛び( )10」発明

(ダービー(1711~63)「コークス( )11法」開発)

1764 ハーグリーブス (?~1778) 「ジェニー紡績機」発明

1769 アークライト (1732~92) 「水力紡績機」 1779 クロンプトン(1753~1827) 「ミュール紡績機」

1785 ワット (1736~1819) 「( )12機関」 →ニューコメン(1663~1729)の鉱山用排水ポンプ改良

カートライト (1743~1823) 「( )13=蒸気機関を利用

1807 フルトン(米) (1765~1815) 「蒸気( )14」 ハドソン川で実用化試運転

1825 スティーヴンソン (1781~1848) 「蒸気( )15」 実用化

ストックトン〜ダーリントン間に最初の( )16

1830 マンチェスター〜リヴァプール間に鉄道 →交通革命

②資本主義世界体制

「( )17制大工業

「( )18=生産手段・資金=を所有する産業資本家の支配する資本主義社会 が確立

イギリス---世界最大の工業国→「世界の工場」

19世紀半ば空前の繁栄→「パクス=( )19」

フランス ナポレオンの保護政策のもとで機械化が始まる

→19世紀後半の第二( )20期(1852~70)に製鉄業の発達により本格化

ドイツ 1830年代から( )21によるドイツ関税同盟(1834年結成)で統一市場形成

→鉄道建設、軍備増強による重化学工業化

合衆国 1810年代( )22戦争期(1812~14)から機械化開始

→( )23戦争期(1861~65)に北部で本格化

ロシア・日本 19世紀末に国策による産業革命が進展⇒後発資本主義国

→国家主導の経済発展を優先させる傾向=( )24の立ち遅れ

【古典派経済学の成立】

アダム=( )25 (Adam Smith, 1723- 90) ❖b

イギリスの経済学者・哲学者。主著=『国富論』(または『諸国民の富』)

「富の源泉を労働に求める「( )26価値説」を築く。

「個人による自分自身の利益の追求⇒結果として社会の利益をはるかに増進」

「分業による技術革新⇒労働生産性の上昇⇒( )27が生まれる。」

「( )28分業」 →保護貿易を批判、自由貿易を支持。

「神の見えざる( )29」 (この言葉は1回使われているだけ)

個人が利己的に行動する。市場において価格や品質等で( )30競争を行う

⇒意図せざる結果(「見えざる手」)として豊かな社会が成立する、と考える。

⇒「自由( )31=レッセフェール=主義」を体系化。「自由主義経済」

❖b---その成員の圧倒的多数が貧しい社会が幸福であるはずはないとして、高( )32論を主張。

「( )33=1766~1834=『人口論』、リカード(1772~1823)が継承→『古典派経済学』

「( )34 (1789~1846)は国家による産業の保護育成の必要を説く→『歴史学派経済学』

③資本主義社会の成立と人々の生活の変容

「産業資本家の政治的発言権が増大

「労働者の増加と人口の( )35への集中→マンチェスター、リヴァプールなど

イギリスなど産業革命が進展する西欧諸国内では

「都市集中・生活環境悪化

→大気汚染・不衛生な環境・コレラの流行など都市・( )36問題の発生

「低賃金長時間労働・女性や( )37の酷使・粗末な食事

→慢性的な肉體衰弱と短命化など⇒社会問題・労働問題の発生

・資本家は「救貧法」に替わる「( )38の精神」、工場労働の厳守を求める

・対抗して⇒労働運動・社会主義思想の登場

1799 「( )39禁止法」→ストライキにたいして3ヶ月以内の懲役を課す→1824年廃止

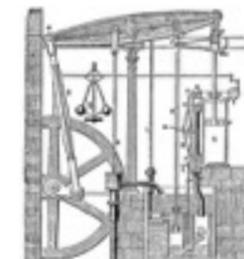
1811 ラッドライト=( )40打ち壊し=運動起こる→英政府は死刑で対処(~1817)



飛び梭



ジェニー紡績機



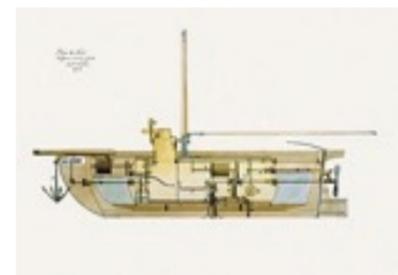
ニューコメンの排水ポンプ



スミス



ワットの蒸気機関



フルトンが設計した潜水艦ノーチラス



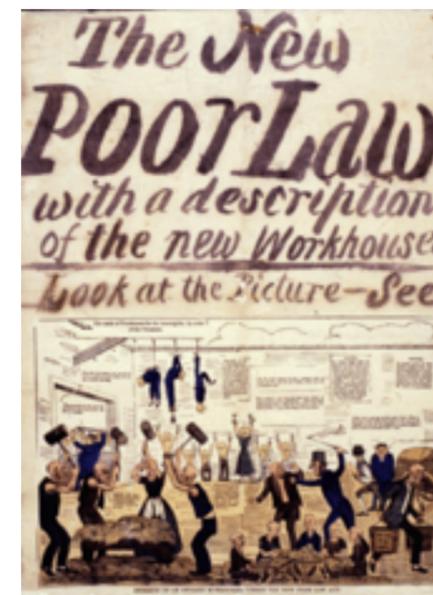
ワット



フルトン



スティーブンソン



救貧法批判のポスター

- ・綿 ・船 ・梭 ・富 ・米英 ・資本(2) ・機械 ・鉄道 ・世界 ・蒸気 ・帝政 ・工場 ・南北 ・自由
- ・市民 ・市場 ・放任 ・製鉄 ・労働 ・都市 ・環境 ・児童 ・団結 ・自助 ・機関車 ・力織機 ・労働者
- ・囲い込み ・民主化 ・インド ・スミス ・リスト ・マルサス ・ブリタニカ ・プロイセン ・ノーフォーク
- ・マンチェスター